

エピソード

A くんが園庭のタライを見て「氷ができてる!」と嬉しそうに話しながら、友達に見せたり、触ったりしていました。「砂も石も凍ってる」と、氷に砂や小石も混ざっていることを見つけました。保育者が「本当だね、すごいね、どうやったらこんな風に氷ができるんだろうね」というと、A くんは「水があって寒かったら氷ができる」と言いました。保育者が「そうなんだね、明日も寒くなるみたいだよ」と言うと、バケツに水を入れ始めました。そのやりとりを見ていた B くんも「ぼくもやってみたい」と一緒に氷づくりを始めました。バケツに水を入れると石や、葉っぱも入れて「影のところに置いておこう。影だと寒いし」と園庭の片隅に置いておきました。

次の日、「氷できてるかな」と楽しみに登園した A ちゃんと B くんがバケツを見て見ると…「氷ができてる!」と喜びながら触っていました。A くんは保育室にいるみんなにも見せようとバケツを持ち歩いた時、バケツの中でカタカタと音がしたので「石が動いてる」と底にある石が動いていることに気がきました。氷ができていることを友達にも知らせ、石が動く様子をみんなで見ました。氷の中で石が動く不思議さをみんなで感じていると C ちゃんは「上は寒いけど下は寒くないから氷になってないんだと思う」と感じた事を話していました。

子どもの育ちや学び

氷ができてる!
冷たい!石も凍ってる!

水があって寒かっ
たら氷ができる

試してみよう!
明日にはできているかな

葉っぱも石も入れて明
日まで置いておこう

成功!氷ができてる!

氷の中で石が動いてる
なんてだろう



【自然との関わり・思考力の芽生え】



【自立心・豊かな感性と表現】



【思考力の芽生え・自立心】

保育者の思い

・氷ができていることを発見した喜びを受け止め、自然現象の不思議さを共に感じたいと思いました。

・氷がどうしたらできるのか自分なりに考えた事を試し、明日へ期待をもってほしいと思いました。

・氷ができたことを喜び、周りの友達にも伝えたいという気持ちを大切にしたいと思いました。また、みんなで自然の不思議さに触れるきっかけとなっていきたいと思いました。

お家の方へ

園庭に出ると、子ども達は小さな自然現象や季節の移り変わりなどに気付いています。“なんてだろう”“不思議だな”と感じる心を大切にしていきたいですね。